

力

インドリーアフレンド

リー」を経営テーマに

掲げる、(株)たいらやは、現在県

内全域に21店舗を展開していま

す。店舗によつては24時間営業

のところもあり、地域ニーズに

密着した営業形態・品ぞろえが

魅力です。

平成18年には「環境に優し  
い優良企業」の認定も取得し、  
地域貢献だけでなく環境への取

り組みも重視しています。  
同社の村上篤三郎社長は、  
取り組みの基本について「地域  
の人々に喜ばれる、従業員が喜ん  
で仕事ができる、業者の方々が  
喜んで取引してくださる——そ  
んな企業をめざしています」と  
言います。

「まさに、経営テーマの『カイン  
ドリー&フレンドリー』なんです。  
その気持ちを、お客様だけにな  
く、従業員にも、お取引先にも  
伝えることで、よりよい企業活  
動ができると考えています」



リサイクルのパッカー車

ざまなCSRに取り組んでいま  
す。特に最後の生ごみリサイク  
ルは、専用のパッカー車を所有  
し、本格的に取り組んでいます。  
リサイクルされた生ごみは堆肥  
となり、それを使って作ったお  
米を、また販売しています。

親子料理教室の他に工場見

学など、親子で参加できる催し  
も年間を通じて開催、人気を  
博しています。

「企業ですから、もちろん利  
益は大切です。しかし、その利  
益を生むまでの過程も、それに  
劣らず重要だと思います。地域  
に貢献することで、より多くの  
方に私たちのファンになっていただ  
ければ、それが最終的に利益に  
も結びしていくわけですから」  
とはいって、CSR活動は社長

や経営幹部が号令をかければ、  
それで実現できるものではあり  
ません。従業員1人ひとりに意  
識付けをし、自覚をもつて取り  
組んでもらえるようにしなけれ  
ば、本当の意味でのCSRは難  
しいと、村上社長は指摘します。  
「だから、経営者としては、  
常に言い続けるのです。経営全  
般にも言えることです、信念  
を持つて言い続ける、やり続け  
ることが、経営者には求められ  
ます。とにかく、少しでも前に  
進もうとする。あきらめ  
ずに続ける意思が重要だと考  
えます」

## 「信念を持って言い続ける、 やり続けることが大切です」

CSR活動に取り組む宇都宮市内の企業をご紹介する本コーナー。

第2回は、地元のスーパーとして親しまれている

(株)たいらやの村上篤三郎社長に話をうかがいました。

CSRで  
輝く会社

2回 株式会社 たいらや



代表取締役社長  
村上篤三郎氏

は、そう力を込めます。  
同社には現在、230人の社  
員が働いています。そのうち70  
人が衛生管理者の資格を持っ  
ています。必要な知識を身に  
着けることで、一歩進んだサービ  
ス、貢献ができるようになります。



主力店舗である今泉新町店

株式会社たいらや  
代表取締役社長 村上篤三郎

◎業種 小売業  
◎設立 平成9年7月  
◎店舗数 21店舗

〒321-0933  
栃木県宇都宮市築瀬町491番地3  
☎ 635-8333(代)  
<http://www.tairaya.jp/>